



なかしん

景況レポート



No.164

2025 年 冬
中兵庫信用金庫
経営企画部

第 164 回 なかしん中小企業景気動向調査

(2025 年 12 月)

当金庫では、四半期ごとに景気の状態を知る一助として、お取引先のご協力により景気動向調査を実施しております。以下は、2025 年 12 月を調査時点とする 2025 年度第 3 四半期(2025 年 10 月～12 月)実績(12 月は予想)、及び 2025 年度第 4 四半期(2026 年 1 月～3 月)見通しについての調査結果です。

経営者の方々をはじめ、皆さまのご参考になれば幸いです。

調 査 時 点	2025 年 12 月
調 査 対 象	中兵庫信用金庫お取引先 [別表 1]
調 査 方 法	聞き取り法
依 頼 先 数	410 先
有効回答数	407 先 (回答率 99.2%)
そ の 他	この調査における景気判断の基準として、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index、略して DI、拡散指数という)による方法を採用しています。 これは、生産・販売・在庫・収益等について前期に比較して、(A)増加(あるいは「上昇」)(B)変らず、(C)減少(あるいは「下降」)のいずれかに回答していただき、この(A)(B)(C)の回答割合(%)のうち(A)から(C)を差し引いた値(DI)を時系列的に観察することによって景況をみる方法です。

[別表 1] 業 種 別 構 成

業 種	依頼数	回答数
製 造 業	104	104
卸 売 業	36	36
小 売 業	98	97
サービス業	68	66
建 設 業	75	75
不 動 産 業	29	29
合 計	410	407

[調査地域]

丹波市・丹波篠山市・三田市
西脇市・多可郡・加東市
三木市・小野市
神戸市・西宮市北部
福知山市

連絡先 〒669-1321 三田市けやき台 1-4-3 ☎ 079-569-7153

中兵庫信用金庫 経営企画部 広報課

景気の状態について

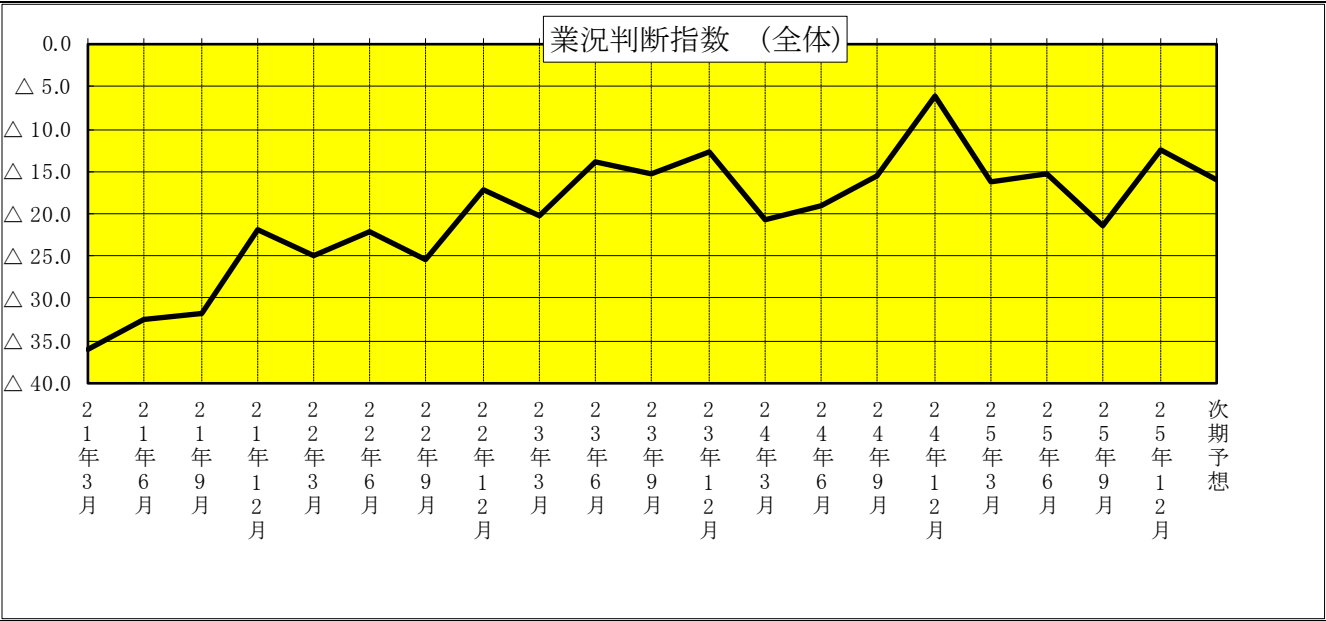
1. 総合的景況判断

業況の推移

調査時点	変 動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)
2024年	10～12月	16.2	61.5	22.3	△ 6.1
2025年	1～3月	12.4	59.0	28.6	△ 16.2
2025年	4～6月	11.9	60.9	27.2	△ 15.3
2025年	7～9月	8.1	62.3	29.6	△ 21.5
2025年	10～12月	12.7	62.2	25.1	△ 12.4
見通し	1～3月	8.5	66.9	24.6	△ 16.1

業種別業況(2025年10月～12月)

業 種	変 動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)	前回調査比	次回予想 D I	今回調査比
製 造 業		19.2	56.8	24.0	△ 4.8	11.8	△ 18.4	△ 13.6
非 製 造 業		10.4	64.2	25.4	△ 15.0	8.2	△ 15.2	△ 0.2
(卸 売 業)		5.9	64.7	29.4	△ 23.5	△ 11.8	△ 26.5	△ 3.0
(小 売 業)		9.5	55.8	34.7	△ 25.2	11.4	△ 23.5	1.7
(サービス業)		16.4	67.2	16.4	0.0	10.6	0.0	0.0
(建 設 業)		12.0	70.7	17.3	△ 5.3	15.5	△ 12.3	△ 7.0
(不 動 産 業)		0.0	67.9	32.1	△ 32.1	△ 3.5	△ 17.9	14.2
全 体		12.7	62.2	25.1	△ 12.4	9.1	△ 16.1	△ 3.7



○今 期

今期（2025 年 10 月～12 月期）の景況をみると、業況 D I は前回調査比で 9.1 ㊦増加の△12.4 と改善した。

業種別でみると、建設業で 15.5 ㊦、製造業で 11.8 ㊦、小売業で 11.4 ㊦、サービス業で 10.6 ㊦増加と改善し、卸売業で 11.8 ㊦、不動産業で 3.5 ㊦減少と悪化した。

○次期予想

次期予想について、業況 D I は今回調査比で 3.7 ㊦減少の△16.1 と悪化する見通しである。

業種別でみると、不動産業で 14.2 ㊦、小売業で 1.7 ㊦増加と改善する見通しで、サービス業は変わらず、製造業で 13.6 ㊦、建設業で 7.0 ㊦、卸売業で 3.0 ㊦減少と悪化する見通しである。

業種別業況判断

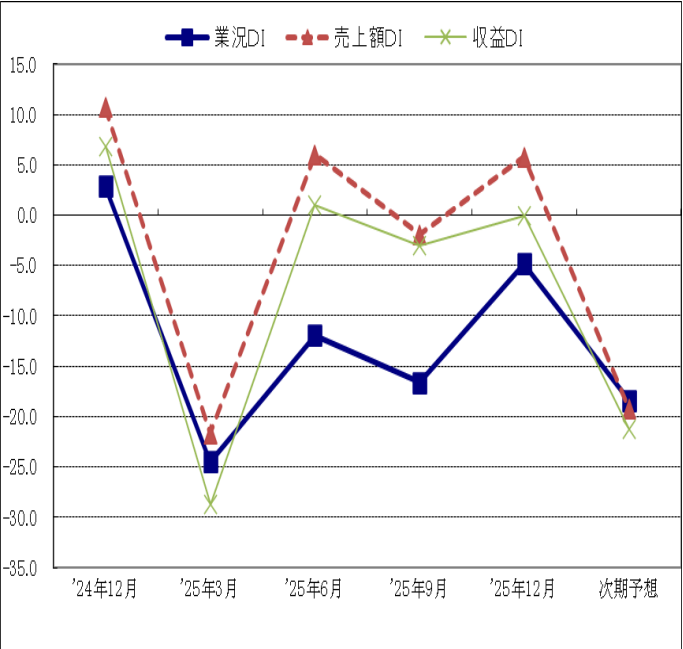
① 製造業

業況D Iは前回調査より 11.8 ㊦増加の△4.8、売上額D Iは 7.7 ㊦増加の 5.8、収益D Iは 3.0 ㊦増加の±0.0と全てにおいて改善した。

次期予想では、業況D Iは 13.6 ㊦減少の△18.4、売上額D Iは 25.0 ㊦減少の△19.2、収益D Iは 21.2 ㊦減少の△21.2と全てにおいて悪化する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年12月	'25年3月	'25年6月	'25年9月	'25年12月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	2.9	△ 24.5	△ 11.9	△ 16.6	△ 4.8	11.8	△ 18.4	△ 13.6
売上額DI	10.7	△ 21.7	6.0	△ 1.9	5.8	7.7	△ 19.2	△ 25.0
収益DI	6.8	△ 28.7	1.0	△ 3.0	0.0	3.0	△ 21.2	△ 21.2



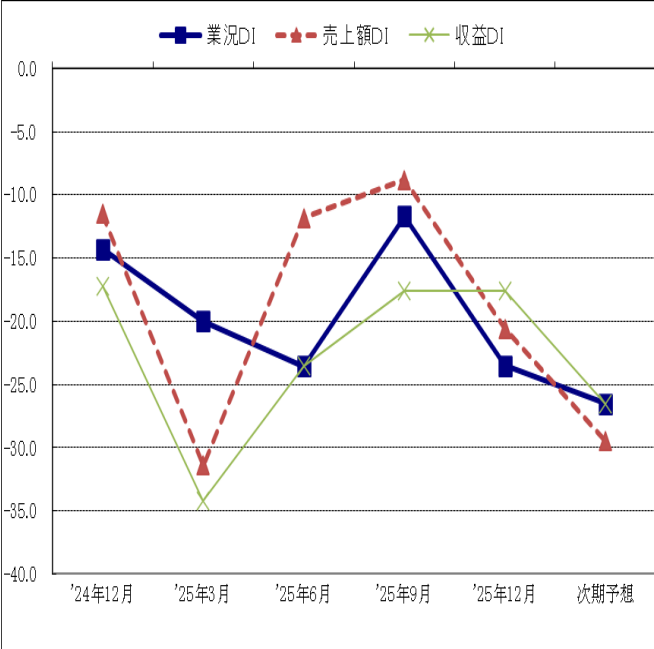
② 卸売業

業況D Iは前回調査より 11.8 ㊦減少の△23.5、売上額D Iは 11.8 ㊦減少の△20.6と悪化し、収益D Iは変わらず△17.6 となった。

次期予想では、業況D Iは 3.0 ㊦減少の△26.5、売上額D Iは 8.9 ㊦減少の△29.5、収益D Iは 8.9 ㊦減少の△26.5と全てにおいて悪化する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年12月	'25年3月	'25年6月	'25年9月	'25年12月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 14.3	△ 20.0	△ 23.6	△ 11.7	△ 23.5	△ 11.8	△ 26.5	△ 3.0
売上額DI	△ 11.5	△ 31.4	△ 11.8	△ 8.8	△ 20.6	△ 11.8	△ 29.5	△ 8.9
収益DI	△ 17.2	△ 34.2	△ 23.6	△ 17.6	△ 17.6	0.0	△ 26.5	△ 8.9



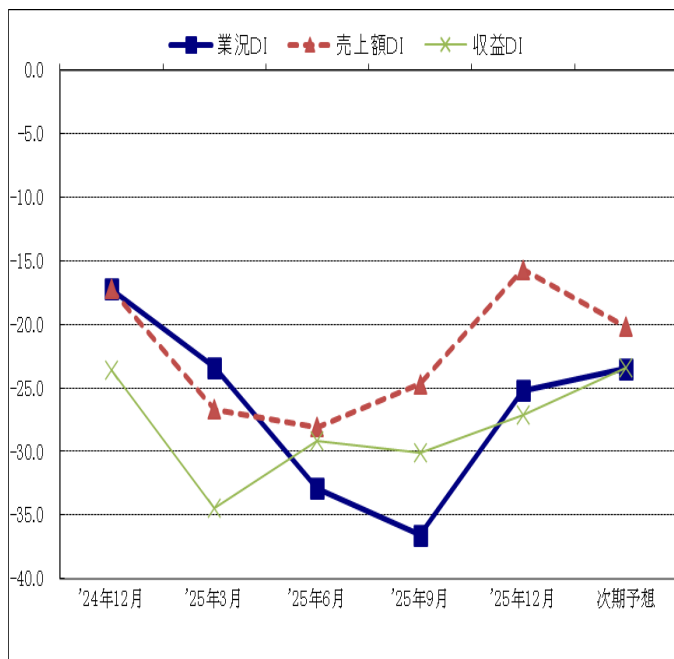
③ 小売業

業況D Iは前回調査より 11.4 ㇿ増加の△25.2、売上額D Iは 9.0 ㇿ増加の△15.7、収益D Iは 3.0 ㇿ増加の△27.1 と全てにおいて改善した。

次期予想では、業況D Iは 1.7 ㇿ増加の△23.5 と改善、売上額D Iは 4.5 ㇿ減少の△20.2 と悪化、収益D Iは 3.7 ㇿ増加の△23.4 と改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年12月	'25年3月	'25年6月	'25年9月	'25年12月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 17.2	△ 23.4	△ 32.9	△ 36.6	△ 25.2	11.4	△ 23.5	1.7
売上額DI	△ 17.2	△ 26.7	△ 28.1	△ 24.7	△ 15.7	9.0	△ 20.2	△ 4.5
収益DI	△ 23.6	△ 34.5	△ 29.2	△ 30.1	△ 27.1	3.0	△ 23.4	3.7



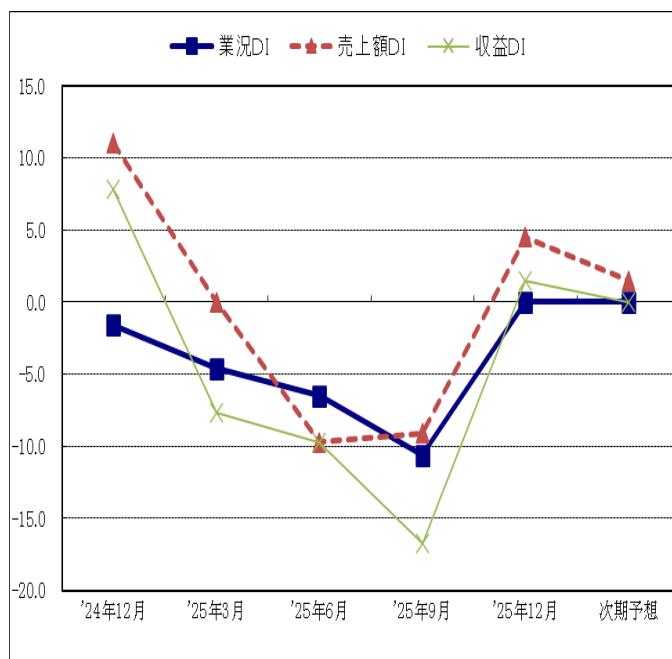
④ サービス業

業況D Iは前回調査より 10.6 ㇿ増加の±0.0、売上額D Iは 13.6 ㇿ増加の 4.5、収益D Iは 18.2 ㇿ増加の 1.5 と全てにおいて改善した。

次期予想では、業況D Iは変わらないの±0.0、売上額D Iは 3.0 ㇿ減少の 1.5、収益D Iは 1.5 ㇿ減少の±0.0 と悪化する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年12月	'25年3月	'25年6月	'25年9月	'25年12月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 1.6	△ 4.6	△ 6.5	△ 10.6	0.0	10.6	0.0	0.0
売上額DI	11.0	0.0	△ 9.7	△ 9.1	4.5	13.6	1.5	△ 3.0
収益DI	7.8	△ 7.7	△ 9.7	△ 16.7	1.5	18.2	0.0	△ 1.5



⑤ 建設業

業況D Iは前回調査より 15.5 ㊦増加の△5.3、売上額D Iは 20.2 ㊦増加の 2.7、収益D Iは 20.3 ㊦増加の±0.0 と全てにおいて改善した。

次期予想では、業況D Iは 7.0 ㊦減少の△12.3、売上額D Iは 12.0 ㊦減少の△9.3、収益D Iは 5.3 ㊦減少の△5.3 と全てにおいて悪化する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年12月	'25年3月	'25年6月	'25年9月	'25年12月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 5.5	△ 6.7	△ 6.7	△ 20.8	△ 5.3	15.5	△ 12.3	△ 7.0
売上額DI	△ 1.3	△ 1.4	△ 11.6	△ 17.5	2.7	20.2	△ 9.3	△ 12.0
収益DI	△ 9.5	△ 14.8	△ 16.0	△ 20.3	0.0	20.3	△ 5.3	△ 5.3



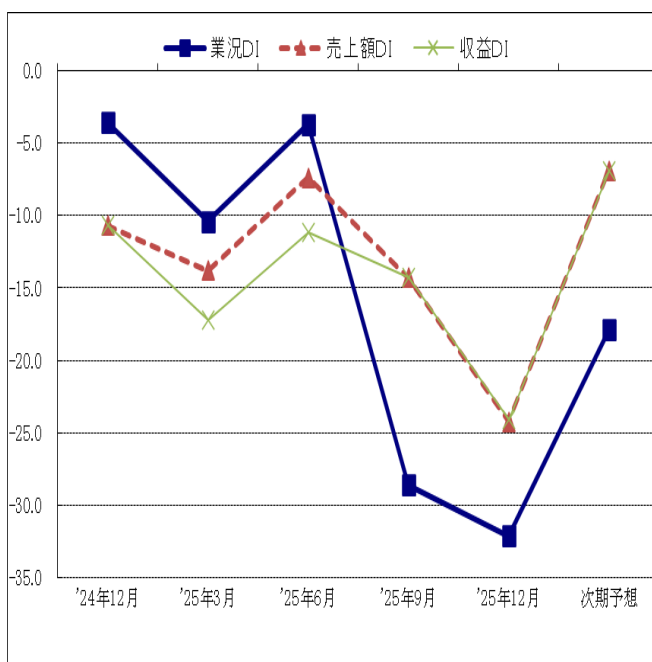
⑥ 不動産業

業況D Iは前回調査より 3.5 ㊦減少の△32.1、売上額D Iは 9.9 ㊦減少の△24.2、収益D Iは 9.8 ㊦減少の△24.1 と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況D Iは 14.2 ㊦増加の△17.9、売上額D Iは 17.3 ㊦増加の△6.9、収益D Iは 17.2 ㊦増加の△6.9 と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年12月	'25年3月	'25年6月	'25年9月	'25年12月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 3.6	△ 10.4	△ 3.7	△ 28.6	△ 32.1	△ 3.5	△ 17.9	14.2
売上額DI	△ 10.7	△ 13.8	△ 7.4	△ 14.3	△ 24.2	△ 9.9	△ 6.9	17.3
収益DI	△ 10.7	△ 17.2	△ 11.1	△ 14.3	△ 24.1	△ 9.8	△ 6.9	17.2



2. 売上状況

売上状況は、前回調査に比べ、「増加」とする企業が4.7 ㊦増加し、「減少」とする企業は3.7 ㊦減少したことから、D Iは8.4 ㊦増加の△4.5と改善した。

次回予想D Iは9.7 ㊦減少の△14.2と悪化する見通しである。

売上状況の推移

調査時点	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)
2024年	10～12月	20.2	58.1	21.7	△ 1.5
2025年	1～3月	15.2	53.8	31.0	△ 15.8
2025年	4～6月	15.4	58.9	25.7	△ 10.3
2025年	7～9月	14.6	57.9	27.5	△ 12.9
2025年	10～12月	19.3	56.9	23.8	△ 4.5
	前回調査比	4.7	△ 1.0	△ 3.7	8.4
見通し	1～3月	11.2	63.4	25.4	△ 14.2
	今回調査比	△ 8.1	6.5	1.6	△ 9.7

業種別売上状況(2025年10月～12月)

業 種	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		27.9	50.0	22.1	5.8	△ 1.9	△ 19.2
卸 売 業		11.8	55.8	32.4	△ 20.6	△ 8.8	△ 29.5
小 売 業		13.5	57.3	29.2	△ 15.7	△ 24.7	△ 20.2
サ ー ビ ス 業		21.2	62.1	16.7	4.5	△ 9.1	1.5
建 設 業		20.0	62.7	17.3	2.7	△ 17.5	△ 9.3
不 動 産 業		10.3	55.2	34.5	△ 24.2	△ 14.3	△ 6.9
全 体		19.3	56.9	23.8	△ 4.5	△ 12.9	△ 14.2



3. 収益状況

収益状況は、前回調査に比べ、「増加」とする企業は 2.3 ㊦増加し、「減少」とする企業は 5.2 ㊦減少したことから、D I は 7.5 ㊦増加し△9.4 と改善した。

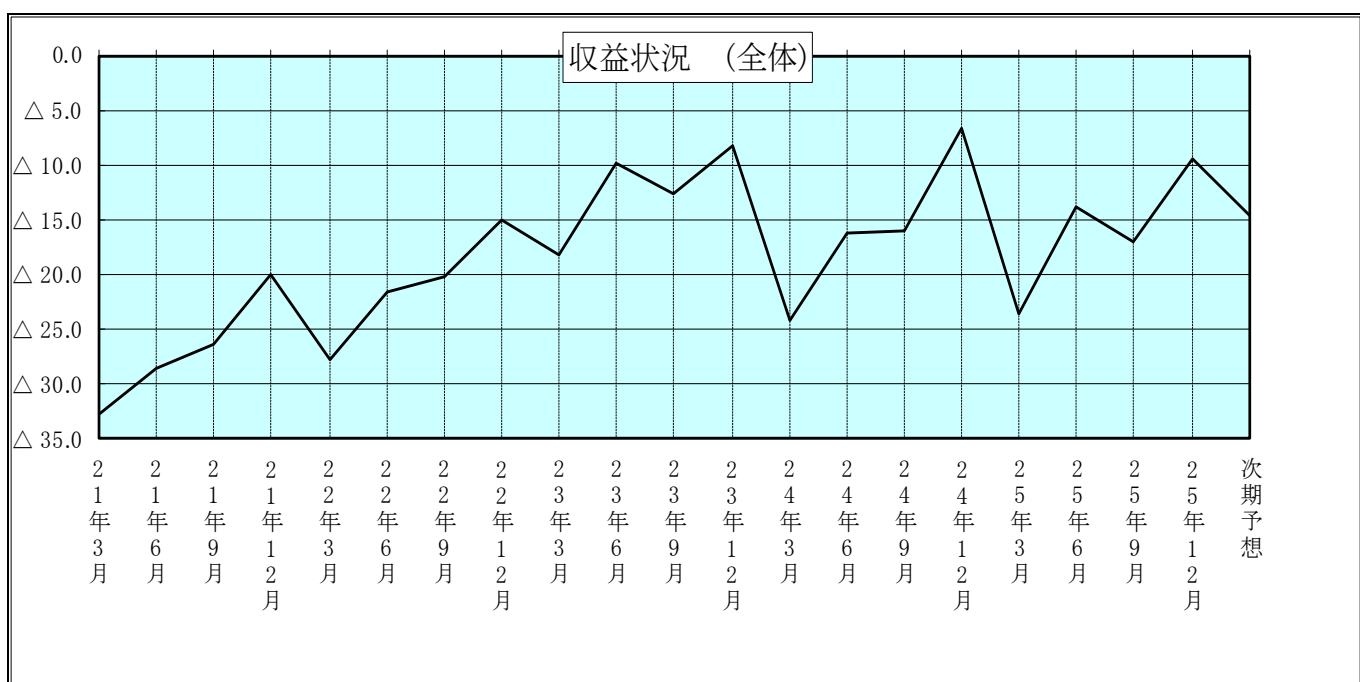
次回予想 D I は 5.2 ㊦減少の△14.6 と悪化する見通しである。

収 益 状 況 の 推 移

調査時点	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)
2024年	10～12月	17.4	58.6	24.0	△ 6.6
2025年	1～3月	11.4	53.6	35.0	△ 23.6
2025年	4～6月	13.9	58.4	27.7	△ 13.8
2025年	7～9月	11.8	59.5	28.7	△ 16.9
2025年	10～12月	14.1	62.4	23.5	△ 9.4
	前回調査比	2.3	2.9	△ 5.2	7.5
見通し	1～3月	10.0	65.4	24.6	△ 14.6
	今回調査比	△ 4.1	3.0	1.1	△ 5.2

業種別収益状況(2025年10月～12月)

業 種	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		19.2	61.6	19.2	0.0	△ 3.0	△ 21.2
卸 売 業		11.8	58.8	29.4	△ 17.6	△ 17.6	△ 26.5
小 売 業		8.3	56.3	35.4	△ 27.1	△ 30.1	△ 23.4
サ ー ビ ス 業		16.7	68.1	15.2	1.5	△ 16.7	0.0
建 設 業		16.0	68.0	16.0	0.0	△ 20.3	△ 5.3
不 動 産 業		6.9	62.1	31.0	△ 24.1	△ 14.3	△ 6.9
全 体		14.1	62.4	23.5	△ 9.4	△ 16.9	△ 14.6



4. 在庫・販売価格・資金繰り状況

○在庫

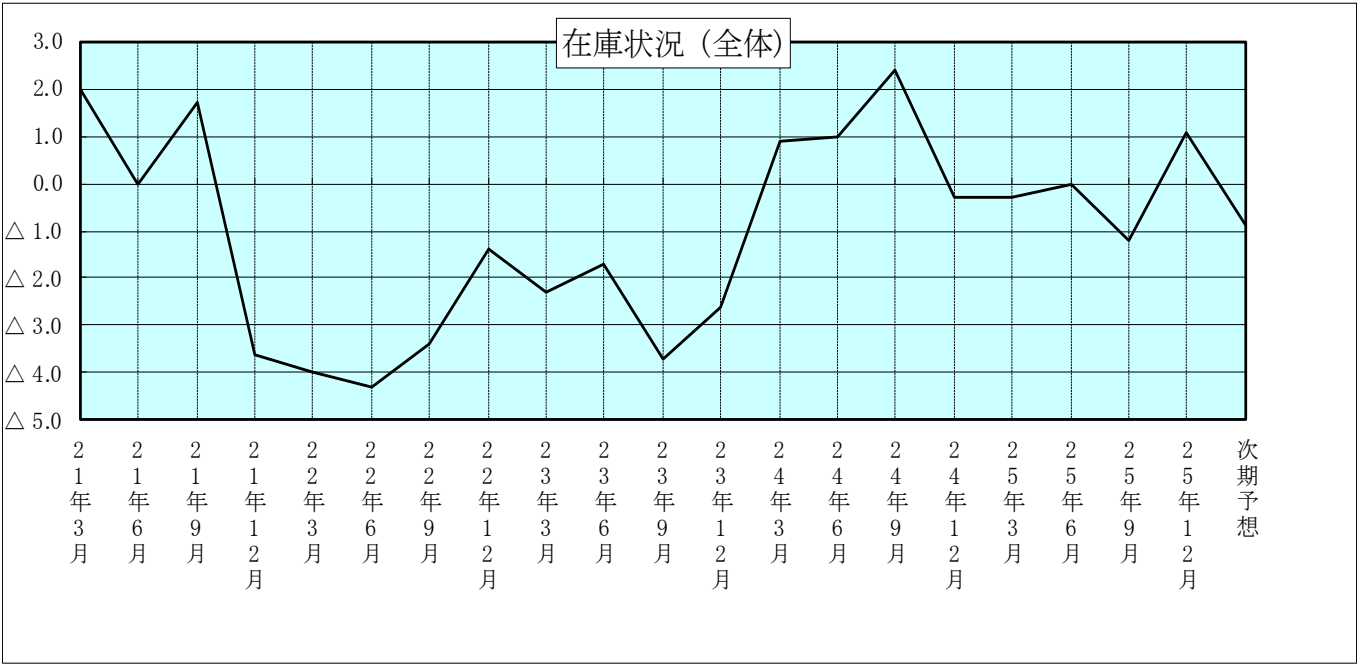
在庫状況は、前回調査に比べ、「過剰」とする企業が0.1 ㊯増加し、「不足」とする企業が2.2 ㊯減少したことから、D Iは2.3 ㊯増加の1.1 となった。
次回予想D Iは2.0 ㊯減少の△0.9 となる見通しである。

在庫状況の推移

調査時点		変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
2024年	10～12月		6.6	86.5	6.9	△ 0.3
2025年	1～3月		7.0	85.7	7.3	△ 0.3
2025年	4～6月		7.5	85.0	7.5	0.0
2025年	7～9月		6.7	85.4	7.9	△ 1.2
2025年	10～12月		6.8	87.5	5.7	1.1
	前回調査比		0.1	2.1	△ 2.2	2.3
見通し	1～3月		4.8	89.5	5.7	△ 0.9
	今回調査比		△ 2.0	2.0	0.0	△ 2.0

業種別在庫状況(2025年10月～12月)

業種	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		9.6	86.6	3.8	5.8	3.9	3.9
卸売業		11.8	85.3	2.9	8.9	2.9	△ 2.9
小売業		6.3	86.3	7.4	△ 1.1	△ 2.1	△ 4.3
建設業		2.7	93.2	4.1	△ 1.4	△ 2.7	0.0
不動産業		3.4	82.8	13.8	△ 10.4	△ 17.9	△ 6.9
全体		6.8	87.5	5.7	1.1	△ 1.2	△ 0.9



○販売価格

販売価格は、前回調査に比べ、「上昇」とする企業が 1.3 ㊦減少し、「下降」とする企業が 1.1 ㊦減少したことから、D I は 0.2 ㊦減少の 11.9 となった。

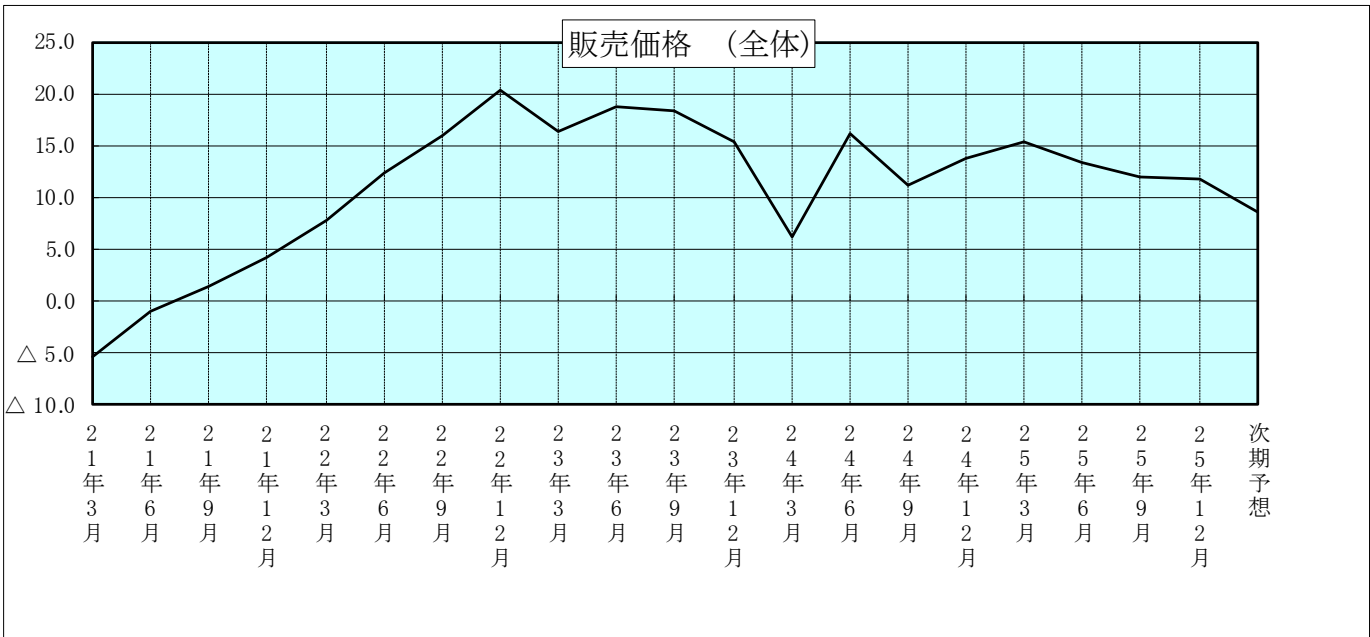
次回予想 D I は、3.4 ㊦減少の 8.6 となる見通しである。

販売価格の推移

調査時点		変動	上昇 A	変らず B	下降 C	D I (A-C)
2024年		10～12月	19.7	74.5	5.8	13.9
2025年		1～3月	20.2	75.0	4.8	15.4
2025年		4～6月	19.2	75.0	5.8	13.4
2025年		7～9月	18.4	75.3	6.3	12.1
2025年		10～12月	17.1	77.7	5.2	11.9
		前回調査比	△ 1.3	2.4	△ 1.1	△ 0.2
見通し		1～3月	12.3	84.0	3.8	8.6
		今回調査比	△ 4.8	6.3	△ 1.4	△ 3.4

業種別販売価格状況(2025年10月～12月)

業 種		変動	上昇 A	変らず B	下降 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業			17.3	82.7	0.0	17.3	8.8	8.6
卸 売 業			17.6	73.6	8.8	8.8	8.8	2.9
小 売 業			22.9	64.6	12.5	10.4	20.4	13.9
サ ー ビ ス 業			12.1	84.9	3.0	9.1	12.2	3.1
建 設 業			14.9	82.4	2.7	12.2	11.0	9.4
不 動 産 業			13.8	79.3	6.9	6.9	3.6	6.9
全 体			17.1	77.7	5.2	11.9	12.1	8.6



○資金繰り状況

資金繰り状況は、前回調査に比べ、「楽」とする企業は 0.7 ㊦増加し、「苦しい」とする企業が 0.1 ㊦減少したことから、D I は 0.8 ㊦増加し△13.6 と改善した。

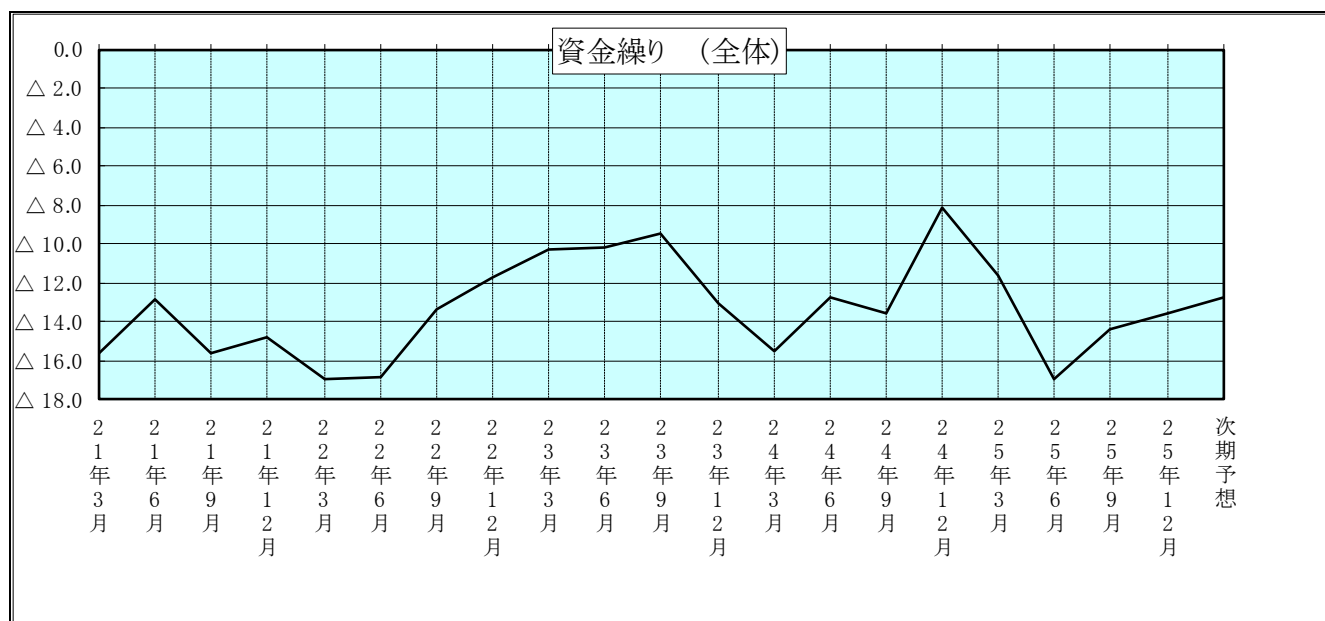
次回予想D I は、0.9 ㊦増加の△12.7 と改善する見通しである。

資 金 繰 状 況 の 推 移

調査時点	変 動	楽 A	変らず B	苦しい C	D I (A-C)
2024年	10～12月	4.8	82.3	12.9	△ 8.1
2025年	1～3月	3.8	79.7	16.5	△ 12.7
2025年	4～6月	2.9	77.2	19.9	△ 17.0
2025年	7～9月	2.0	81.6	16.4	△ 14.4
2025年	10～12月	2.7	81.0	16.3	△ 13.6
	前回調査比	0.7	△ 0.6	△ 0.1	0.8
見通し	1～3月	2.5	82.3	15.2	△ 12.7
	今回調査比	△ 0.2	1.3	△ 1.1	0.9

業種別資金繰り状況 (2025年10月～12月)

業 種	変 動	楽 A	変らず B	苦しい C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		5.8	82.7	11.5	△ 5.7	△ 9.8	△ 6.8
卸 売 業		0.0	79.4	20.6	△ 20.6	△ 17.6	△ 17.6
小 売 業		2.1	77.1	20.8	△ 18.7	△ 20.5	△ 19.4
サ ー ビ ス 業		3.0	83.6	13.4	△ 10.4	△ 9.1	△ 8.9
建 設 業		1.3	81.4	17.3	△ 16.0	△ 16.2	△ 16.0
不 動 産 業		0.0	82.1	17.9	△ 17.9	△ 14.8	△ 7.1
全 体		2.7	81.0	16.3	△ 13.6	△ 14.4	△ 12.7



5. 雇用面の動き

○残業時間

残業時間の状況は、前回調査に比べ、「増加」とする企業が2.9割増加し、「減少」とする企業が1.6割減少したことから、D Iは4.5割増加の△3.9となった。

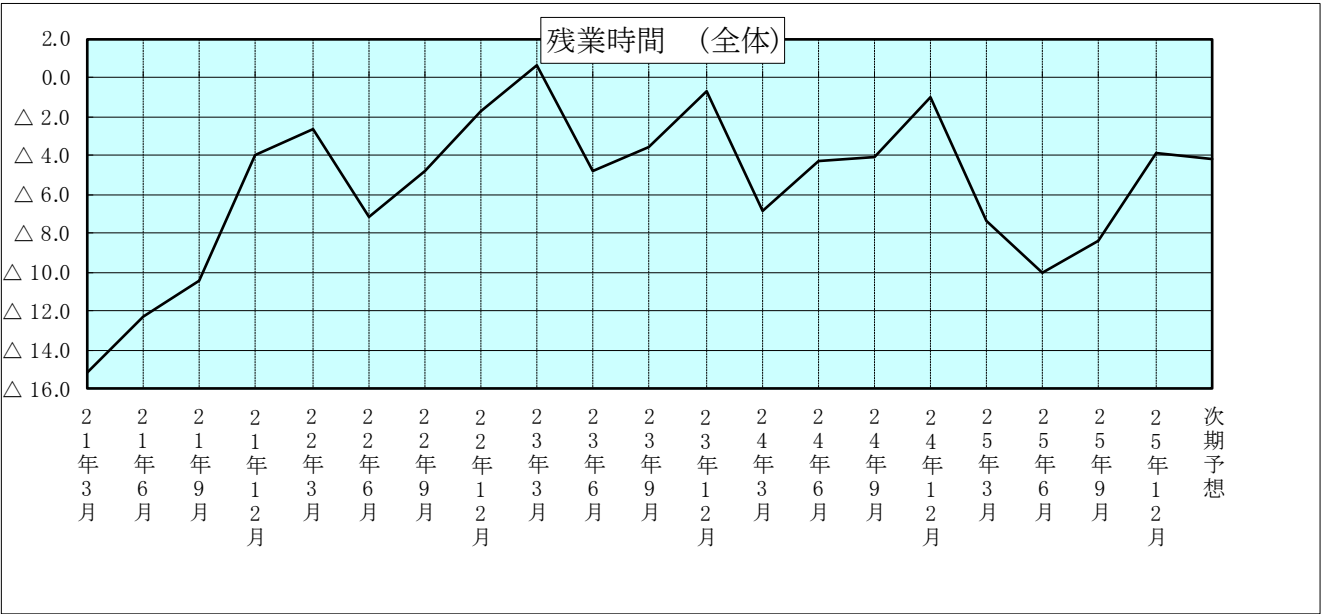
次回予想D Iは、0.3割減少の△4.2となる見通しである。

残 業 時 間 状 況 の 推 移

調査時点		変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)
2024年	10～12月		6.3	86.4	7.3	△ 1.0
2025年	1～3月		5.6	81.4	13.0	△ 7.4
2025年	4～6月		2.9	84.2	12.9	△ 10.0
2025年	7～9月		3.6	84.4	12.0	△ 8.4
2025年	10～12月		6.5	83.1	10.4	△ 3.9
	前回調査比		2.9	△ 1.3	△ 1.6	4.5
見通し	1～3月		5.3	85.2	9.5	△ 4.2
	今回調査比		△ 1.2	2.1	△ 0.9	△ 0.3

業種別残業時間状況(2025年10月～12月)

業 種	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		9.7	72.8	17.5	△ 7.8	△ 13.7	△ 9.9
卸 売 業		2.9	85.3	11.8	△ 8.9	△ 5.9	△ 8.9
小 売 業		4.3	88.3	7.4	△ 3.1	△ 12.4	△ 3.3
サ ー ビ ス 業		6.0	82.1	11.9	△ 5.9	△ 7.6	△ 1.5
建 設 業		8.0	90.7	1.3	6.7	1.3	4.0
不 動 産 業		3.4	82.8	13.8	△ 10.4	△ 7.1	△ 10.4
全 体		6.5	83.1	10.4	△ 3.9	△ 8.4	△ 4.2



○人 手

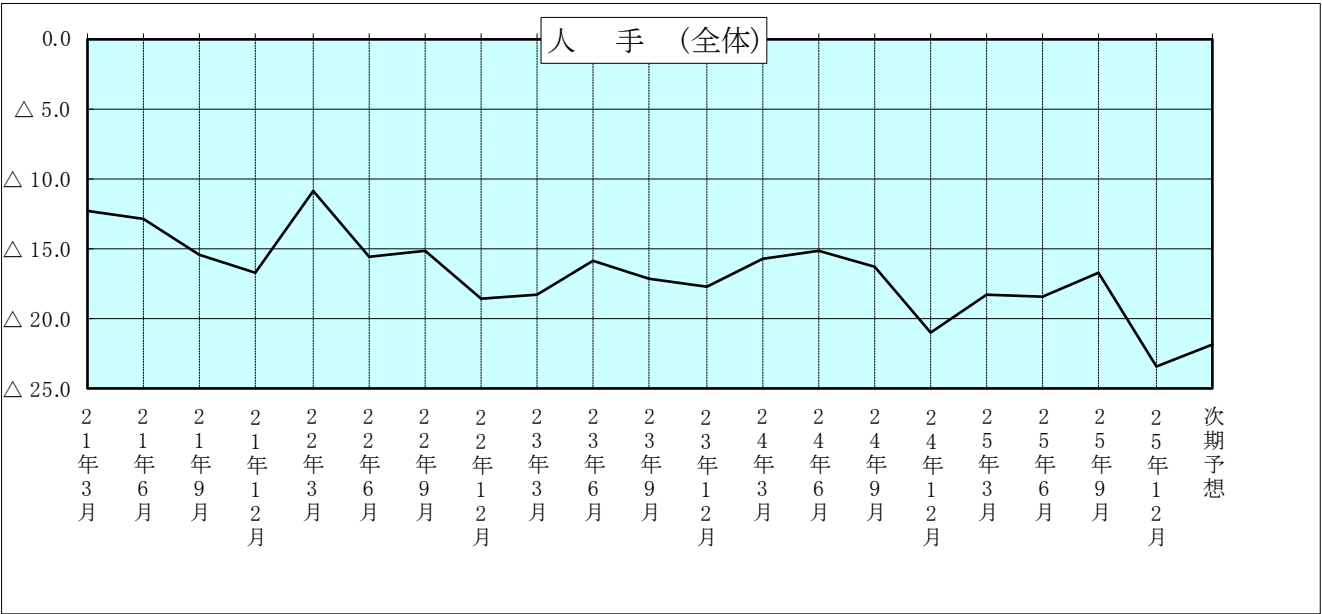
人手の状況は、前回調査と比べ、「過剰」とする企業が 0.8 ㊦減少し、「不足」とする企業が 5.9 ㊦増加したことから、D I は全体で 6.7 ㊦減少の△23.4 となった。
 次回予想D I は、全体で 1.6 ㊦増加の△21.8 となる見通しである。

人 手 の 状 況 推 移

変 動		過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A－C)
調査時点					
2024年	10～12月	1.3	75.9	22.8	△ 21.5
2025年	1～3月	2.3	77.2	20.5	△ 18.2
2025年	4～6月	2.9	75.8	21.3	△ 18.4
2025年	7～9月	2.3	78.7	19.0	△ 16.7
2025年	10～12月	1.5	73.6	24.9	△ 23.4
	前回調査比	△ 0.8	△ 5.1	5.9	△ 6.7
見通し	1～3月	2.3	73.6	24.1	△ 21.8
	今回調査比	0.8	0.0	△ 0.8	1.6

業種別人手状況(2025年10月～12月)

変 動		過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A－C)	前回調査 D I	次回予想 D I
業 種							
製 造 業		1.9	76.7	21.4	△ 19.5	△ 7.9	△ 8.8
卸 売 業		2.9	70.6	26.5	△ 23.6	△ 17.6	△ 29.4
小 売 業		1.1	77.6	21.3	△ 20.2	△ 15.4	△ 19.6
サ ー ビ ス 業		1.5	74.6	23.9	△ 22.4	△ 22.7	△ 29.9
建 設 業		1.3	64.0	34.7	△ 33.4	△ 22.9	△ 30.7
不 動 産 業		0.0	75.9	24.1	△ 24.1	△ 21.4	△ 24.1
全 体		1.5	73.6	24.9	△ 23.4	△ 16.7	△ 21.8



6. 経営上の 問題点・当面の重点経営施策

経営上の問題点では、多くの業種で「売上の停滞・減少」、「原材料高」、「材料価格の上昇」、「同業者間の競争の激化」が1位、2位を占めたが、小売業で「仕入先からの値上げ要請」が2位、サービス業で「人手不足」が2位、不動産業で「商品物件の不足」が2位となった。

当面の重点経営施策では、多くの業種で「経費を節減する」と「販路を広げる」が1位と2位を占めたが、小売業、不動産業で「宣伝・広告を強化する」が2位となった。

経 営 上 の 問 題 点

(複数回答 単位:%)

業 種	1 位		2 位		3 位		4 位	
製 造 業	売上の停滞・減少	30.1			同業者間の競争の激化	22.3		
	原材料高				人件費の増加			
卸 売 業	売上の停滞・減少	44.1	同業者間の競争の激化	29.4	仕入先からの値上げ要請	23.5	人手不足	20.6
小 売 業	売上の停滞・減少	45.3	仕入先からの値上げ要請	29.5	同業者間の競争の激化	18.9	人件費の増加	16.8
サ ー ビ ス 業	材料価格の上昇	28.8	売上の停滞・減少 人手不足	27.3			同業者間の競争の激化	25.8
建 設 業	材料価格の上昇	42.7	同業者間の競争の激化	29.3	人手不足	28.0	売上の停滞・減少	26.7
不 動 産 業	同業者間の競争の激化	37.9	売上の停滞・減少	31.0			利幅の縮小	20.7
			商品物件の不足				問題なし	

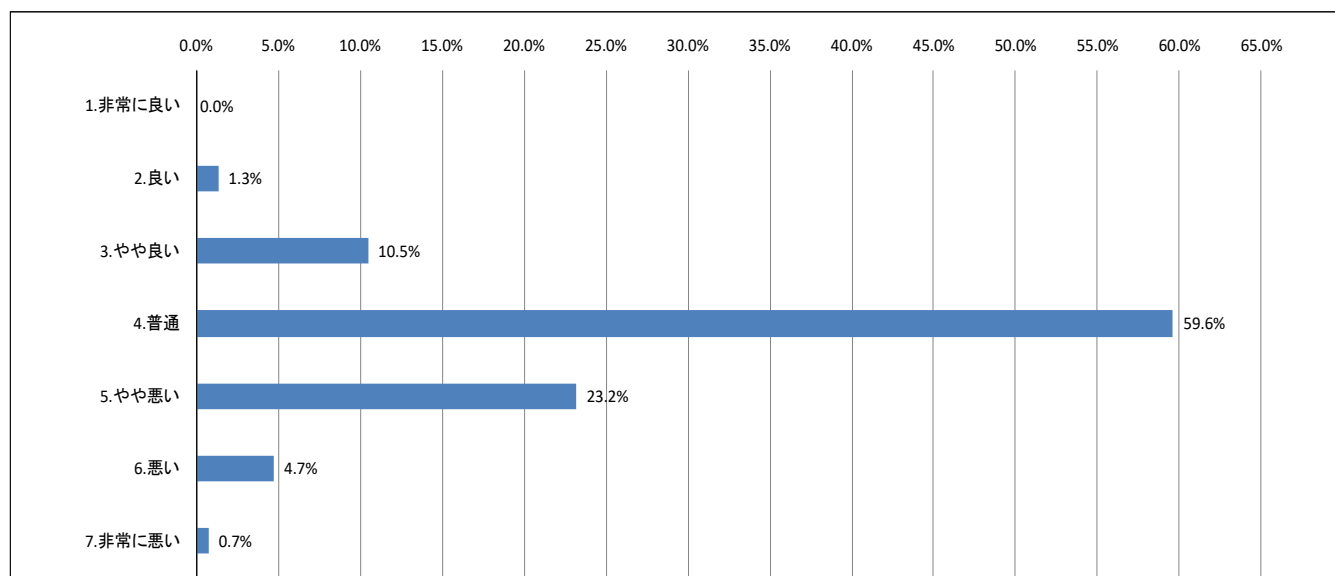
当 面 の 重 点 経 営 施 策

(複数回答 単位:%)

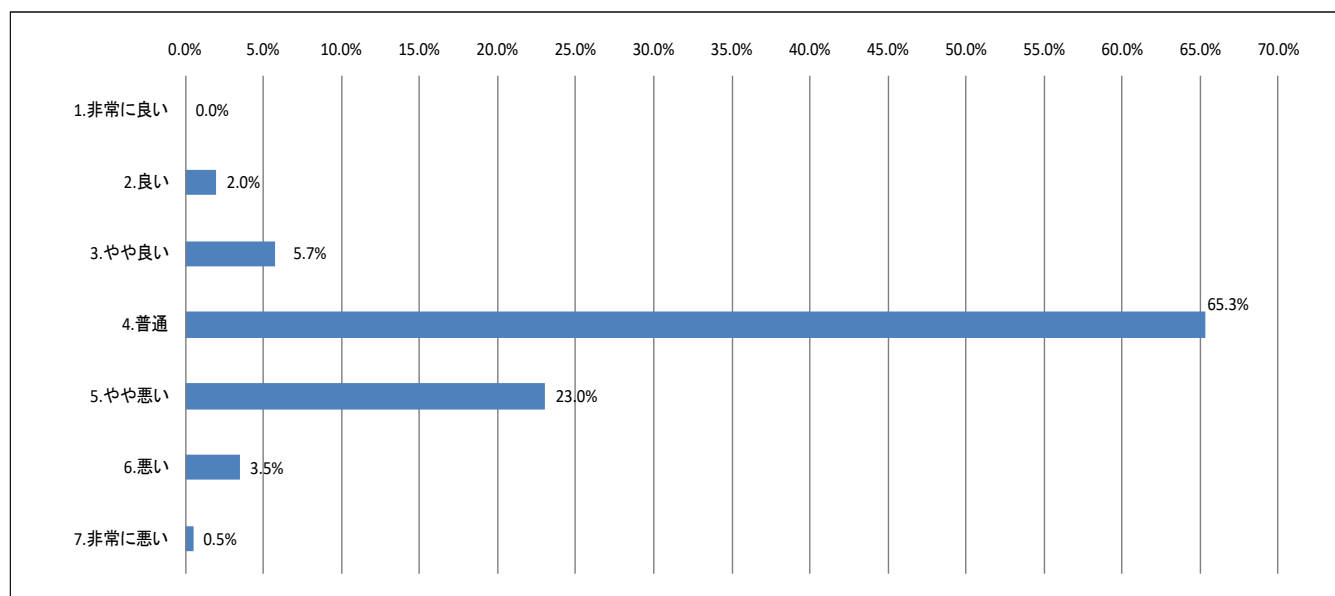
業 種	1 位		2 位		3 位		4 位	
製 造 業	経費を節減する	49.5	販路を広げる	42.7	人材を確保する	29.1	新製品・技術を開発する	13.6
卸 売 業	販路を広げる	50.0			人材を確保する	20.6	品揃えを充実する	17.6
	経費を節減する						特になし	
小 売 業	経費を節減する	58.1	宣伝・広告を強化する	23.7	品揃えを改善する	20.4	人材を確保する	19.4
サ ー ビ ス 業	経費を節減する	47.8	販路を広げる	31.3	人材を確保する	28.4	宣伝・広告を強化する	16.4
建 設 業	経費を節減する	42.7	販路を広げる	37.3	人材を確保する	33.3	技術力を高める	25.3
不 動 産 業	販路を広げる	55.2	宣伝・広告を強化する	41.4	経費を節減する	34.5	情報力を強化する	24.1

2026 年(令和 8 年)の経営見通し

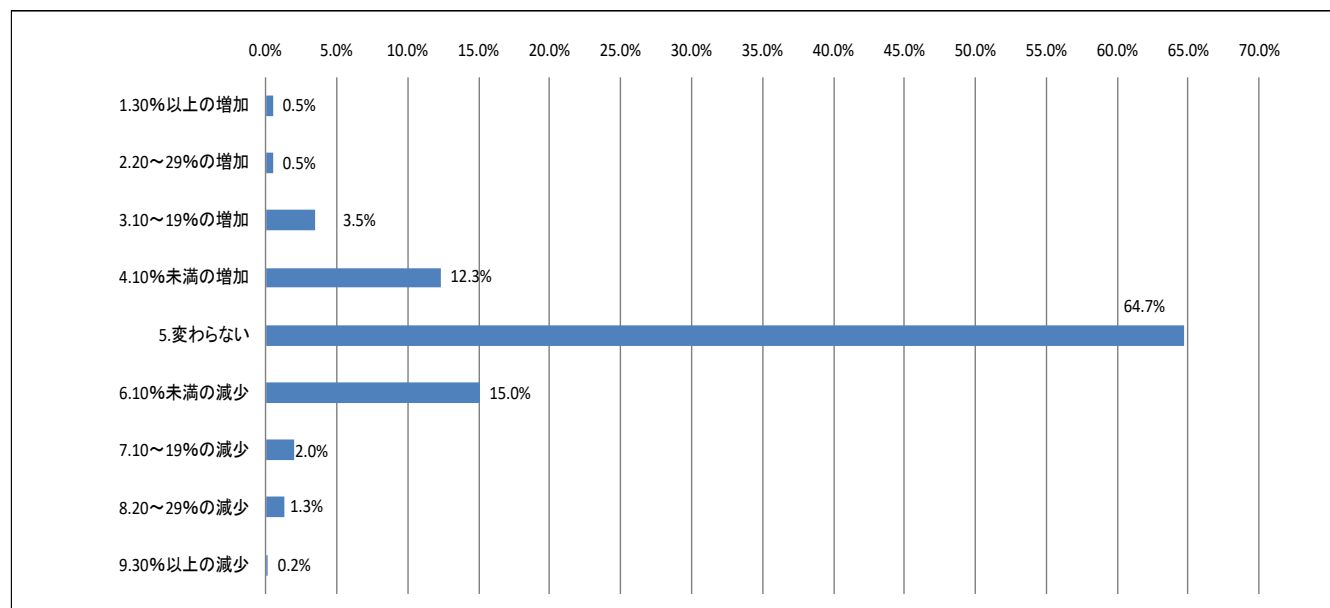
問. 1 貴社では、2026 年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。



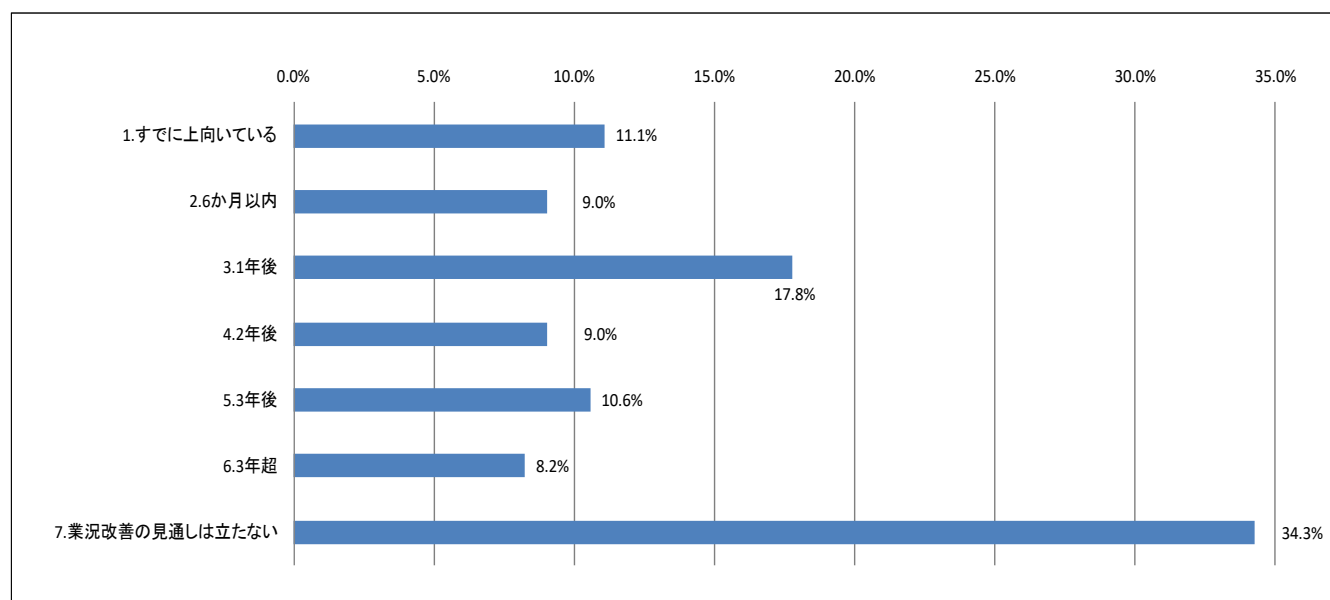
問. 2 貴社では、2026 年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。



問 3. 2026 年において貴社の売上額の伸び率は、2025 年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。

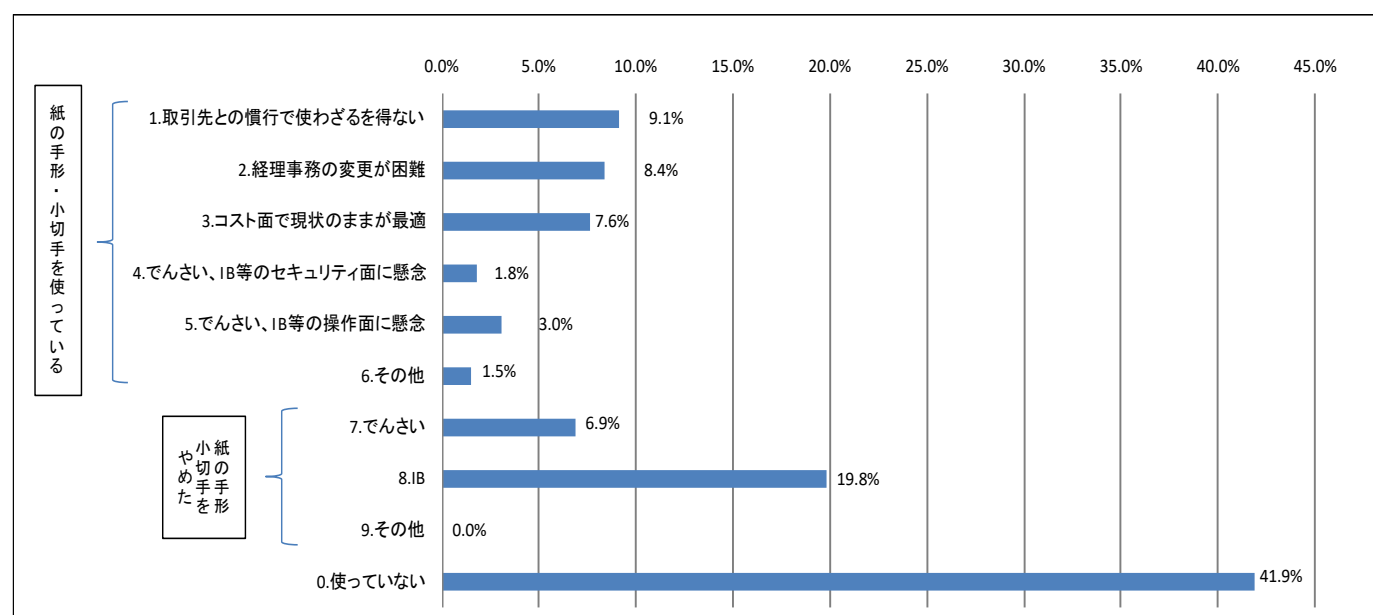


問 4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。



問 5. 紙の手形・小切手の利用状況についてお伺いします。政府は、2027 年 3 月末までに約束手形の利用廃止、小切手の全面的な電子化の方針を示しています。貴社では、現時点で、企業間の資金決済の手段として、紙の手形・小切手を使っていますか。使っている場合はその理由を 1～6 から、もともと使っていたがやめた場合は現在の主な資金決済手段を 7～9 から、そもそも手形・小切手自体を使っていない場合は 0 から、最もあてはまるものを 1 つだけ選んでお答えください。

※選択肢上の「IB」はインターネットバンキングを指すものとします。



2026 年(令和 8 年)の経営見通しについて
(景気動向調査の有効回答先から調査したものです)

1. 2026 年の日本の景気について、「非常に良い」、「良い」、「やや良い」の回答が 11.8%、「普通」の回答が 59.6%、「やや悪い」、「悪い」、「非常に悪い」の回答が 28.6%であった。
2. 2026 年の自社の業況(景気)について、「非常に良い」、「良い」、「やや良い」の回答が 7.7%、「普通」の回答が 65.3%、「やや悪い」、「悪い」、「非常に悪い」の回答が 27.0%であった。
3. 2026 年の売上額の伸び率(対 2025 年)について、「増加」の回答が 16.8%、「変わらない」の回答が 64.7%、「減少」の回答が 18.5%であった。
4. 自社の業況が上向く転換点について、「1 年後」が 17.8%と最も多く、「すでに上向いている」が 11.1%、「3 年後」が 10.6%と続いた。
5. 紙の手形・小切手の利用状況については、「紙の手形・小切手を使っている」の回答が 31.4%であり、「取引先との慣行で使わざるを得ない」が 9.1%と最も多かった。
「紙の手形・小切手をやめた」という回答は 26.7%であり、現在の主な資金決済手段は「IB」が 19.8%と最も多かった。
「そもそも使っていない」という回答は 41.9%であった。